

抽選で緒戦失う サッカ一部全国大会出場

小田高新聞 昭和38年1月10日号より

第41回全国高校サッカー選手権大会神奈川県予選は11月4日から24日まで県営藤沢競技場で行われ、本校サッカー部は決勝戦で栄光学園を破り、今春1月3日より西宮球場で行われた全国高校サッカー選手権大会の出場権を獲得した。

県予選決勝

決勝戦は充実した試合で、前半5分ウイングカ石君のコーナーキックより相手のミスによってまず1点を先取し、尚も再三のチャンスをあと一步のところで点にすることができず、断然優勢のまま前半を終えた。

後半に入ってから本校の優勢は依然として続いたが、30分ごろ相手にペナルティーキックを許し、1-1の同点とされた。こうなると追われる者の弱みか、しばしピンチに見舞われたが、バックは堅く、後半を終わり、同点のまま延長戦に入った。

延長戦に入り、本校はフォワード白井君がシュートを決め、劣勢をくつがえし、さらに浅倉、白井君のシュートで、4対1のスコアで栄光学園を倒した。

決勝までの道のり

決勝に進むまでを振り返ると、まず、1回戦シード、2回戦翠嵐高校を8-0、3回戦関東学院高校を3-0と一方的に下し、4回戦では優勝確実と賞されていた慶応高校に対し、前半から1点のリードを許し、後半を終わるのかと思われた矢先に、白井君のシュートで同点とし、続いて早野君の見事なロングシュートで2点目をあげ、見事、慶応高校を振り切り、茅ヶ崎高校との抽選で勝った栄光学園と決勝を行ったのである。

9年ぶり4度目

本校の全国大会出場は4度目、実に9年ぶりの事である。26年には決勝戦まで進み、惜敗している。

松山北高と1回戦第2試合を行い、両校得点なく、延長前半の一点リードされたのを、後半葛野君が1点を挙げ、同点としたが抽選で敗れた。慶応高を破った実力を発揮できないのが惜しまれる。